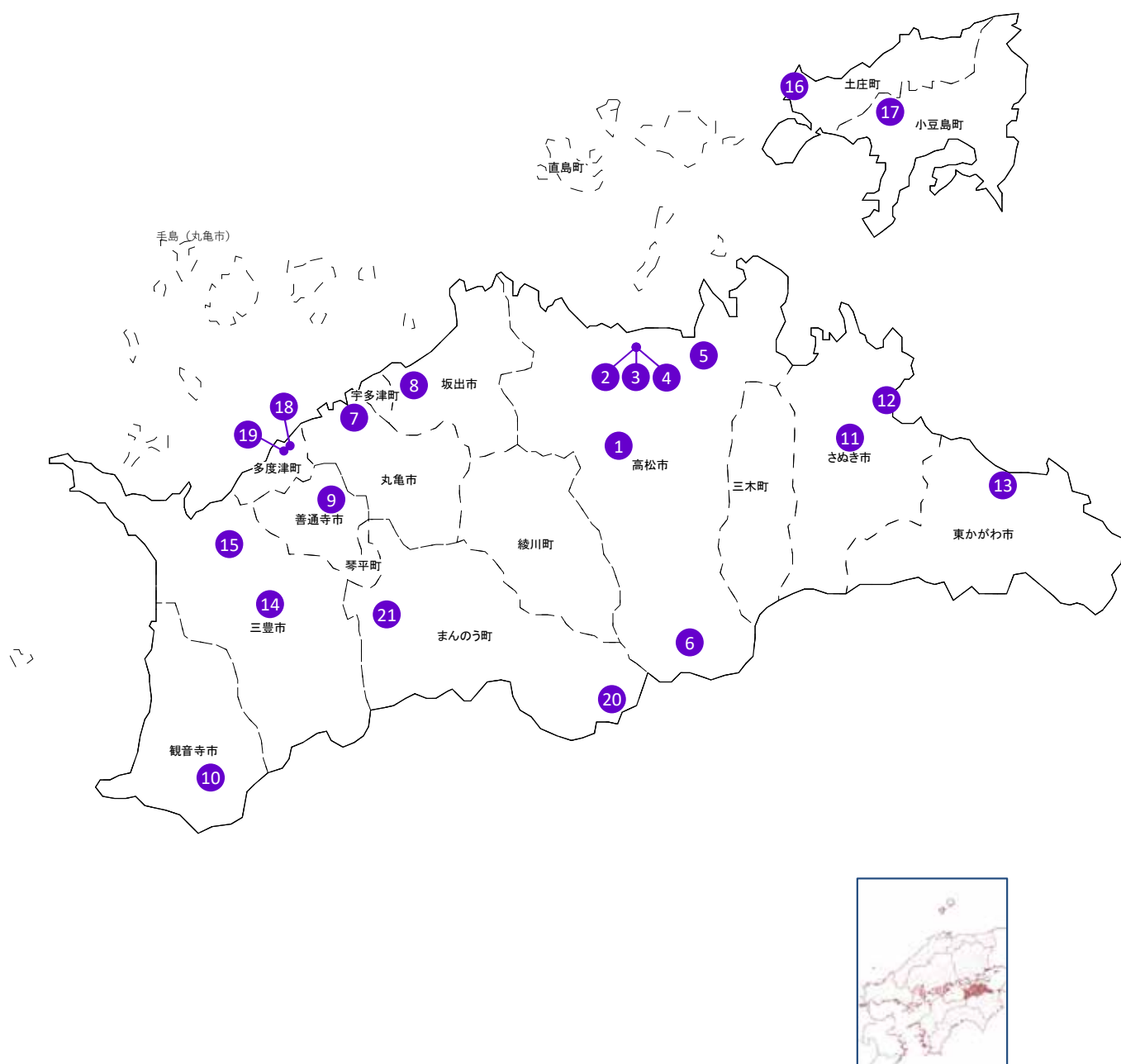


香川県

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (香川県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①		団体	高松市	大野豆プロジェクト	地産地消	伝統の継承	農福連携
②		団体	高松市	香川大学学生ESDプロジェクトSteeP	環境保全(農林水産業・食品産業)	学生・若者の活躍	
③		団体	高松市	香川大学OGIJIMAプロジェクトここから	農業	地産地消	学生・若者の活躍
④		団体	高松市	香川大学Bonsai☆Grils Project	伝統の継承	女性の活躍	学生・若者の活躍
⑤		団体	高松市	社会福祉法人 ナザレの村	6次産業化	教育機関との連携	農福連携
⑥		団体	高松市	特定非営利活動法人 奥塩江交流ボランティア協会	農村文化体験	高齢者の活躍	多様な分野との連携
⑦		団体	丸亀市	塩飽部隊	農村文化体験	女性の活躍	学生・若者の活躍
⑧	地方 奨励賞	団体	坂出市	坂出第一高等学校 食物科	地産地消	食育・教育	学生・若者の活躍
⑨		団体	善通寺市	株式会社まんてがん	農業		
⑩		団体	観音寺市	五郷里づくりの会	伝統の継承	関係人口の創出	その他(小さな経済の循環)
⑪		団体	さぬき市	香川県立石田高等学校 ワンダーフォーゲル同好会	棚田保全	伝統の継承	環境保全(農林水産業・食品産業)
⑫		団体	さぬき市	株式会社安岐水産	水産業	企業との連携	食育・教育
⑬		団体	東かがわ市	三高みんなの食堂プロジェクト(香川県立三本松高等学校)	6次産業化	食育・教育	学生・若者の活躍
⑭		団体	三豊市	農事組合法人高瀬茶業組合	農業		
⑮		団体	三豊市	三野町環境保全会	農業	農村文化体験	農村環境・景観保全
⑯		団体	土庄町	小豆島陽当の里伊喜末	荒廃農地対策	農村環境・景観保全	高齢者の活躍
⑰		団体	小豆島町	小豆島町中山棚田協議会	棚田保全	伝統の継承	関係人口の創出
⑱		団体	多度津町	香川県立多度津高等学校 建築科・木匠部	学生・若者の活躍	農村環境・景観保全	その他(教育)
⑲		団体	多度津町	たどつまちLabo	林業	農村環境・景観保全	
⑳		団体	まんのう町	島ヶ峰の原風景を守る会	6次産業化	棚田保全	荒廃農地対策
㉑	地方 奨励賞	団体	まんのう町	帆山地域保全活動組織	農業	6次産業化	関係人口の創出

応募地区（者）所在市町図（香川県）



おおのまめ 大野豆プロジェクト 「大野豆」復活とその次世代への継承活動

概要

- 品種転換により消滅の危機に瀕していた伝統野菜の「讃岐長莢空豆(通称：大野豆)」の生産復活を願う有志35名が集い、休耕田を活用し、大野豆を中心に黒豆・大豆・小豆等の豆類栽培を開始。
- 地元幼稚園及び小中高校に栽培活動への参画を提唱し、地域の活性化と伝統野菜「大野豆」の復活とその次世代への継承を目指したプロジェクト活動。

成果

- 小中高校生への環境学習、学校給食への提供、地産地消、さらに農福連携分野まで活動領域が拡大。
- プロジェクト活動の成果を「大野豆復活物語」や「6次産業化事例」として、香川大学マネジメント研究科公開講座等で発表。
- 令和6年1月地理的表示(GI)登録に至り、「大野豆」は特産品として自信を持って地域の子供たちに継承できる産品となる。



地域全体が連携した活動



押し抜き寿司作りと女性会発刊の郷土料理本



令和6年1月 地理的表示(GI)登録

〒761-1701 高松市香川町大野1329-1
087-886-1960

かがわだいがくがくせいーえすでー 香川大学学生ESDプロジェクトSteeep すてっぷ 香川から世界へ！エコな社会を目指して

概要

- 環境問題に関する様々な活動を行うなかで、自然を守るうえで見過ごすことのできない海洋プラスチック問題に関心を持ったことをきっかけに、深刻化する海洋ごみ問題の現状を踏まえ、地域の子供たちを対象に海ごみ拾いイベントを令和2年より実施。
- 地域のコミュニティーセンターと連携し、海ごみ拾いと座学を行うことで、環境保全について考えるきっかけづくりの提供。

成果

- イベントでは海ごみ拾いに加え、魚釣りゲームや環境問題に関するクイズを実施することで、子供たちに楽しんでもらいながら海ごみ問題を学ぶ機会を提供。
- この活動を通じて、参加者は海洋ごみ問題を身近な課題と捉え、幅広い年齢層の方たちに海ごみ問題について考えてもらうきっかけとなり、地域社会が抱える環境問題の解決に貢献。



海ごみ拾いイベント



小学生を対象にした勉強会

〒760-0016 高松市幸町2-1 香川大学古川研究室
steep.kagawa@gmail.com

関連情報はこちら▶



かがわだいがく おぎじま
香川大学OGIJIMAプロジェクトここから
 特産品の落花生で男木島を元気に！

概要

- 少子高齢化、過疎化の進行に伴い農業の担い手も不足している男木島で、荒れた耕作放棄地を解消し、かつて名産品であった落花生の生産に取り組み、島の伝統や食文化を継承する活動を実施。
- 収穫した落花生を用いて島民向けのイベントを実施し、また、事業を継続的に実施することで、島内だけでなく島外の人々へも認知度の向上を目指す。



島民の方と一緒に畑の整備



落花生の収穫



落花生を用いて調理したお菓子

成果

- 男木島の地域活性化を図るとともに島民の方々に活動を認知してもらい機会が創出でき、耕作放棄地の解消や食文化の継承等にも寄与。
- 地産地消を意識した取組として、男木島で育てた落花生を調理から実食するまでの過程を男木島の方々とともに実施。
- 島民の方々と協力して島の名産品を栽培するという地域に根差した取組を今後も継続。

〒760-0016 高松市幸町2-1 香川大学古川研究室

関連情報はこちら▶



かがわだいがく ぼんさいがーるずぷろじえくと
香川大学Bonsai☆Girls Project
 若者と高松盆栽を繋ぐ架け橋に！

概要

- 松盆栽の生産地として知られる高松市の盆栽の魅力を女子大生の目線からPRするために平成24年に発足。
- 「男性・お年寄り・高価」といった盆栽の一般的なイメージとは真逆の「女性・若い大学生・お金をそんなに持っていない」といった女子大生が高松盆栽の認知度向上と若い世代への普及を目的に活動。

成果

- 盆栽作家から、実際に盆栽の作り方や育て方を定期的に教わり技術向上に努め、若者や女性をターゲットに盆栽教室や苔玉ワークショップを開催し、誇るべき地場産業を女子大生の新しい視点から効果的に発信。
- フリーペーパー「ZINE」を作成し、盆栽に関連したことを取材して掲載。SNSによる情報発信は盆栽に興味のある海外からのフォローも多く、それをきっかけに海外の盆栽イベントに動画参加。



週1回の情報共有のミーティング



フラワーフェスティバルワークショップ



盆栽教室の様子

〒760-0016 高松市幸町2-1 香川大学古川研究室

関連情報はこちら▶



しゃかいふくしほうじん むら
社会福祉法人 ナザレの村
 あなたの居場所がこの村にありますように。

概要

- 関連施設を卒園した障害児の家族から「成人になっても地域の中でありのままに暮らしてほしい」との要望があり作業所を開設。
- 平成16年に法人化以降は、各施設において、農福連携等の様々な取組を通じ、利用者の作業活動や就労支援を行い、地域の人たちに喜ばれるものを提供。
- 利用者が自分自身の役割やチームワークの重要性・大切さを学ぶ機会を創出。



薬用作物の植え付け作業



高松中央郵便局での無人販売



ランチ・弁当の販売風景

成果

- 地域の方々から使わなくなった農地を借り、EM（有用微生物群）による無農薬・無化学肥料栽培で、水稻、マコモダケ、野菜、薬用作物等を栽培。栽培品目・面積は年々増加。
- 収穫した米や野菜などは、マルシェで新鮮な状態で販売するほか、ランチや弁当、スイーツ等に加工して販売。特に米は好評であり、全体売り上げも好調。
- サツマイモ栽培では、「春日こども園」の園児と利用者が交流し、苗の植え付けや収穫作業が地域のイベントとして定着。

〒761-0101 高松市春日町1291番地1
 087-841-9595

関連情報はこちら ▶



とくていひえいりかつどうほうじん おくしおのえこうりゅう きょうかい
特定非営利活動法人 奥塩江交流ボランティア協会
 スローライフを楽しみながら持続可能な社会に貢献

概要

- かつては木材・炭・農産物の供給や阿讃交通の要所として賑わっていた地域を再び活性化させることを目的に、有志20名が中心となり平成18年に奥塩江交流ボランティア協会を設立。
- 楽しみながら地域農業に貢献する「楽農人活動」、山村に賑わいをもたらす「交流活動」、グリーンツーリズムに向けた「山なみ活動」を実施。



天空の茶畑で「楽農人」



モモの広場で「まんぷく会」

成果

- 高齢化や後継者不足で荒廃が進んだ畑や放置茶畑を再生し、畑は「天空の畑」として蘇りソバや野菜の栽培に、茶畑は「天空の茶畑」として香川県内第2位の生産量を誇るまでとなり、JA産直市や地元の道の駅で売り上げも順調。
- 会員も約100名にまで増え、奥塩江の自然・風土が好きで「スローライフを楽しみ、持続社会に貢献する」を合言葉に地域内外から集まる仲間たちが活発な活動を展開。

〒761-1613 高松市塩江町上西甲29-1

関連情報はこちら ▶



しわくぶたい 塩飽部隊

瀬戸内海の島はSDG s ラボ

概要

- 香川県丸亀市沖に浮かぶ高齢化率90%、平均年齢80歳、人口わずか15名の手島を訪問した際、島の人たちの力強さと優しさに感銘を受け、手島を自然循環のモデルアイランドにしようと、島民、京大生、NPO「四国夢中人」が一緒になって「塩飽部隊」を結成。
- 企業や大学、市民団体を巻き込んで活動を実施し、様々な分野の人々の交流を生むことで島を守り、歴史や文化を後世に残す。



香川本鷹栽培農家による現地指導

成果

- 企業研修や外国人のキャンプなどで、島民との交流の機会を創出。
- 「瀬戸内海海洋ゴミゼロ作戦」に協力し、海洋環境問題を啓発。
- 島民にフォーカスした「自然と共に生きる手島暮らし」を3か国語(日本語、英語、仏語)で動画配信。
- 香川本鷹の有機農法や手島の海洋漂着ゴミ回収プロジェクトを通じて、国内外に瀬戸内海の今を動画配信。



海洋ゴミ回収

〒763-0027 丸亀市7番丁-71

関連情報はこちら ▶



地方
奨励賞

さかいでだいいちこうとうがっこう しょくもつか 坂出第一高等学校 食物科

高校生が伝える生きた食材

概要

- 令和4年度に各学校併設の調理場を統合した坂出市学校給食センター新設に伴い、小・中学校の児童や生徒に「食」を通じて、地域への理解・関心を深めてもらうため、地場産物を活用した学校給食メニューを考案し、学校給食で提供。
- 児童・生徒への地産地消の意識を高め、学校給食における地場産物の使用割合の向上に貢献し、高校生による食育ワークショップ等の食育授業を通じて、若い世代への食育意識の浸透を図る。



班別のメニュー案の作成

成果

- 栄養バランスやアレルギーへの配慮、単価という予算面でも苦慮しながら、仲間との協力を通じて柔軟な発想から考案したメニュー14品のうち、教育委員会・JA・給食センター等の関係者による試食会で評価の高かった5品を学校給食で提供。
- 地場産物や学校給食に関する知識だけでなく、食材の好き嫌いがある子どもたちにも、どう調理すれば残さず食べられるかといった想像力や発想力を鍛える経験に繋がった。
- 給食提供の際、食育授業を実施して地産地消を広く浸透させた。



調理実習

〒762-0032 坂出市駒止町二丁目1番3号
0877-46-2157

関連情報はこちら ▶



かぶしきかいしゃ

株式会社まんでがん

地域の架け橋となり新しい価値を創り続ける

概要

- シャッター通りとなりつつあった街を、まちの全部まるごと元気にしたいという思いで、香川県の方言「まんでがん（全部まるごと）」という社名のもと、平成11年に設立。
- 新品種のもち米として誕生した「讃岐もち麦ダイシモチ」の生産振興や商品開発・販路の拡大をすることにより、善通寺市の農業の活性化と地域ブランドの向上に取り組んでいる。



自社売店

成果

- 「讃岐もち麦ダイシモチ」を使った食べやすい茹で麦やレトルトカレーなどの商品を開発。最近では、ふるさと納税の返礼品として雑穀部門で上位になるなどリピーターが増加。
- 市内高校生が考案したレシピを元にチュロスの商品化するなど、地域との関わりを深めている。
- インターネットやSNS、「移動式観光案内所&キッチンカー」（ぜんつうじ むぎゅっとカー）を活用し、特産品を県内外に広くプロモーションして善通寺市の魅力を発信し、地域を振興。



ぜんつうじ むぎゅっとカー と むぎゅ〜ちゃん

〒765-0011 善通寺市上吉田町二丁目1番9号
0877-64-0012

関連情報はこちら▶

ごごうさと かい
五郷里づくりの会

GOGO五郷！～文化は山から降りてくる～

概要

- 平成23年に、井関・内野々・有木・海老済・田野々の5つの地域からなる五郷の活性化を目的に、「できることから活動を始めよう」と五郷里づくりの会を発足。
- 「人が輝く里山づくり」を目指して、地域資源である「五郷の棚田(つなぐ棚田遺産認定)」の保全と地域の活性化を図る活動を実施。5月5日を「五郷の日」と定め、総会&記念行事を実施。
- 五郷の独自性を大切にして、伝統行事・郷土料理の継承や関係人口創出に資する取組を実施。

成果

- 五郷水車、水車小屋、吾妻屋、ピザ石窯の建設を始め、蕎麦の栽培と蕎麦打ち体験、里山歩き、三世代交流のピザ作り体験やさつま芋の栽培と親子収穫体験会など幅広い活動を実施。
- 独自性を出すため、豊稔池堰堤(国の重要文化財)等の名所を活かした5つの里山歩きコースの整備や、梅狩り・ミカン狩り・花炭づくり体験を絡めたグリーンツーリズム、伝統料理の提供。
- 和文・英文表記の案内板、五郷観光案内図や五郷たんけんマップを作成するなど来訪者に配慮した取組を展開。



「五郷の日」記念イベント



3基のピザ石窯



国の重要文化財「豊稔池」

〒769-1621 観音寺市大野原町井関696
0875-54-4489 携帯090-1324-8364 (徳善)

関連情報はこちら▶



かがわけんりつしだこうとうがっこう
香川県立石田高等学校 ワンダーフォゲル同好会
 どうこうかい
 大人から教わる山仕事、僕らの青春。

概要

- 耕作放棄地だった里山を一人で耕作して水生生物のために環境を整備していた昆虫研究家の卒業生に誘われ、棚田の耕作・生物調査・水源管理・下草刈り等里山保全活動に取り組む。
- ボランティア団体である「Gomyo倶楽部」の人たちに昆虫研究と農業と山暮らしについてサポートを受けながら取り組んでいる。保全活動は重労働であるが、その楽しさや面白さは代々先輩から後輩へ受け継がれている。

成果

- 珍しい水生生物を守るために棚田を耕して、渇水対策として砂防ダム上流部に新水源を設置することにより、旧水源の水はすべてため池に貯水することで、ため池の高水位を維持できた。
- 「Gomyo倶楽部」のサポートを受けながら、自然観察会・御田植祭・稲刈り体験会等イベントを開催して、地域の人々と交流している。特に旬の食材を限られた手段で調理する野外炊飯が楽しみの一つになった。大人たちと共に時間を過ごすことで、自信を持って自然と向き合うことができるようになった。



自然観察会の開催



ため池調査



新水源の設置

〒769-2321 さぬき市寒川町石田東甲1065番地
 0879-43-2530

関連情報はこちら▶



かぶしきがいしゃ あきすいさん
株式会社 安岐水産
 食べる喜びは生きる喜び

概要

- お魚を通して知る「楽しさ・喜び」をたくさんの方と共有したいと「お魚を食べることを、次世代に繋ぐ」という熱い思いのもと、『お魚生活すすめ隊』を結成。地元の食文化を伝えるなど魚食文化を伝える活動を継続。
- 命をいただくことの大切さやその意味を伝え、お魚をより身近なものにしてもらう機会を提供。

成果

- 食育ツアーや親子お魚料理教室、地元企業とのコラボした郷土料理の「ばら寿司」の制作・試食会等のイベントを開催した。
- 漁師、地域、企業の3者で発足した地域活動に計画段階から参加、過疎化が進む津田の街に賑わいをもたらすことを目的に「津田港わくわくフェスティバル」を開催した。
- 地元小学生とともに、タコの減少理由を調査し、減少の一因と考えられる真鯛を間引いて食物連鎖のバランスを保つために真鯛を使った商品の企画・販売をした。



津田港わくわくフェスティバル×地元小学生



World Cleanup Day:ビーチクリーン開催

〒769-2401 さぬき市津田町津田1402-23
 0879-42-3037

関連情報はこちら▶





さんこう 三高みんなの食堂プロジェクト

しよくどう
かがわけんりつさんぽんまつこうとうがっこう
(香川県立三本松高等学校)

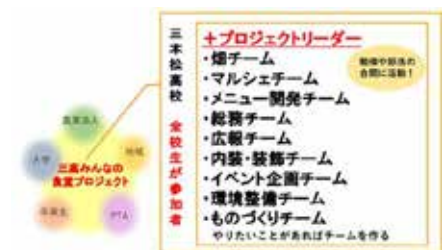
学食の復活、そして地域食堂へ

概要

- 高校の学食運営は、新たな仕組みを作ることによって大きな可能性があると考え、地域の資源を生かし、生徒が主体的に活動して農事組合法人と共に食堂運営に係わるプロジェクトを構築。
- 良質な食の提供、生徒の活動と学び、地域住民の交流の場としての食堂を目指し、地域の良さを体感できコミュニティを活性化することに繋がる取組を通して、地域の将来を担う人づくりとして活動。

成果

- 65人のプロジェクトリーダーが中心となって全生徒・職員が参加し、よりよい学食に向けてできることを主体的に考えて自主的に実行している。地元農家や漁協の協力もあり、安価で質の良い食事の提供が可能に。
- 生徒は活動を通して地域が身近になり人の良さに触れ、その大切さを実感できており、将来自ら進んで地域を担う意識をもった社会人として活躍することが期待できる。地域との関係が深まり、生徒たちは誇りをもって取り組みに参加。



プロジェクトの体制



地元産品使った日替わり定食



高齢者など地域の方の学食利用

〒769-2601 東かがわ市三本松1500-1
0879-25-4147

関連情報はこちら ▶



のうじくみあいほうじんたかせちやぎようくみあい 農事組合法人高瀬茶業組合

四国発の高麗人参スプラウトを水耕栽培にて

概要

- 組合員の高齢化・後継者不足による茶の減産を心配した地域の有志が、組合の再構築のため、姉妹縁組を結び農業交流を続けていた韓国から高麗人参スプラウトの栽培技術の指導と研修を受け、約2年で安定的に栽培する技術を習得して事業を始めた。
- 高麗人参スプラウトを水耕栽培することにより、従来の高麗人参よりも安く生鮮野菜として販売。
- 健康意識向上のための薬膳教室を開き、漢方や生薬などの普及・啓発に取り組んでいる。

成果

- これまで緑茶の製造・販売のみだったが高麗人参スプラウトの栽培と販売に取り組むことにより、従来のお茶のお客様にも販売できるという相乗効果をもたらした。
- 東京等の都市部の料理店・高級食材店への営業を拡大するとともに健康意識の高い顧客に直接販売する等販路を拡大している。
- 三豊市は「薬草の町」づくり宣言をしており、高麗人参スプラウト及び関連商品をふるさと納税の返礼品に提供するなど地域ぐるみで販路を拡大している。



茶工場を改装した販売所



高麗人参スプラウトと水耕栽培システム



薬膳教室

〒767-0021 三豊市高瀬町佐股甲2476
0875-74-6012 ginseng@shikokuhatsu-koraininjin-sprout.com

関連情報はこちら ▶



みのちょうかんきょうほぜんかい
三野町環境保全会
 次世代に繋ぐ、ほほえみの町、三野町

概 要

- 農地・農業用施設の維持管理を農業者以外の地域住民も加わった地域全体で行うことや本地域における環境資源や伝統文化を後世に継承していくことを目指して、ほぼ三野町全域で活動する「三野町環境保全会」を設立。
- 地域資源保全の活動を町全域に広げていくとともに、子供達への啓蒙活動、景観形成活動、田んぼダムや防災訓練などの防災・減災活動等多種の活動に取り組んでいる。



ため池の草刈り

成 果

- 活動区域が拡大し、構成員が多種の活動に取り組めるようになった。また、町全体の包括的な活動で、維持管理が困難だった小規模な農地・農業用施設も活動が実施できるようになった。
- 協力団体も増え、農地・農業用施設の維持管理だけにとどまらず、子供達への農業体験、遊休農地にコスモスやアジサイなどの景観作物の栽培、河津桜の維持管理など非農業者を主とした地域住民との共同活動へ広がっており、その結果、本組織が町全体に広く知られることとなった。



田んぼダムの看板

〒767-0032 三豊市三野町下高瀬568-1

しょうどしまひあたりのさといぎすえ
小豆島陽当の里伊喜末
 高齢者も活躍し、若者が地域を支える農村へ

概 要

- 高齢化や鳥獣被害で増加した耕作放棄地に危機感を抱いた農業者数名が、かつての活気と景観を取り戻そうと農地の再生に乗り出し、それをきっかけに活動が開始。
- 島嶼部特有の不利な耕作条件のなか、高齢者が生き生きと活躍し、女性と若い世代が一丸となって地域を支えることにより、新たな耕作放棄地の発生を防止。
- サツマイモの「芋づるの塔」等の伝統継承、積極的にコミュニティ活動を推進した結果、住民全体の交流が深まった。

成 果

- 当初は農業者有志で始めた活動も、現在では青年団や消防団も管理作業に参加し、地域全体の交流と協力体制が構築。
- 島内のオリーブ生産4法人の誘致、伝統野菜の生産や地元企業と連携した新規作物の契約栽培に取り組む等再生した農地を永続的に活用することが実現。
- 地域創生プロジェクトとして「ごまのみらい小豆島プロジェクト」を発足、野菜の収穫体験イベントや給食への食材提供による食育、芋掘り体験等による交流人口も増加。



タマネギの収穫体験学習



ごまのみらい小豆島プロジェクトが発足



島内外からの来客で賑わう産直市

〒761-4131 小豆郡土庄町伊喜末116-3

関連情報はこちら ▶



しょうどしまちょうなかやまたなだきょうぎかい
小豆島町中山棚田協議会
 先人の汗の結晶を未来へ継ぐ「中山千枚田」

概要

- 棚田を中心に培われてきた貴重な文化や伝統の源である中山千枚田を守るため、住民自らが発起人となり協議会を設立。
- 未耕作田の減少に努め、景観の保全に取り組むとともに、地域の強みを活かしつつ、新たな魅力発見に努めることで、地域おこし協力隊等移住者も含めた地域づくりを目指す。



大学生ボランティアによる水路掃除

成果

- 棚田オーナーを募集し、耕作作業を指導する棚田アカデミーや江戸時代から続いてきた「中山農村歌舞伎」や「虫送り」等棚田での稲作文化が起源となっている行事に参加してもらうことにより、棚田の魅力発信と再発見につなげている。
- 若い学生によるボランティア活動の受け入れや棚田耕作体験を支援して、地域の活力づくりに役立っている。



活性化イベント「泥んこ遊び」

〒761-4431 小豆郡小豆島町片城甲44番地95
 0879-82-7026

関連情報はこちら▶



かがわけんりつたどつこうとうがっこうけんちくか・もくしょうぶ
香川県立多度津高等学校建築科・木匠部
 専門高校のモノづくりで地域貢献！

概要

- 里山の保全活動を行いながら、学校での学びを形に変える活動を実施。地域おこしのプロジェクトに参加し、環境整備や地域活動を通じて活動の場を広げる。
- 地域貢献から始まり、地域の方からの支援を受けた実地教育の成果を、モノ・コトとして残すという良縁のスパイラルを創出。
- 地域活動を通じて様々な人と会うことにより、生徒たちの活動の場が広がる。

成果

- 保全活動を通じ、木材の生育環境や保全について実地で学べる貴重な機会を得て、自然管理の大変さと大切さの学習の場が創出される。
- 専門高校に通う生徒の地域貢献活動と地域の方の支援がマッチし、唯一無二の教育機会に繋がっている。
- 学んだことを活用した地域貢献で、生徒と地域の大人達との繋がりで活躍の場が広がり、地域の好循環が生まれている。



記念樹を植樹



毎月行っている里山保全活動



CLTベンチの制作

〒764-0011 仲多度郡多度津町栄町1丁目1-82

らぼ たどつまちLabo

竹あかりで多度津を盛り上げたい！

概要

- 地域未利用資源である放置竹林の竹を利用したワークショップの開催や作成した竹あかりを展示するイベントの企画・運営することにより、町の活性化を推進。
- 古くなった竹あかりや牡蠣養殖で使われていた竹で竹炭を作り、河川の浄化に生かす。

成果

- 地域住民団体や多度津町役場と連携して、歴史的建造物が立ち並ぶ旧本町筋にて竹あかりを展示することを通して、旧本町筋が重要伝統的建造物保存地区に選定されることを目指す。
- 地域住民と連携して放置竹林の竹を定期的に伐採することにより、放置竹林問題の解消に貢献。
- 竹炭を利用して、町のシンボルである桜川の浄化につなげることで資源の循環を実現。



竹あかりワークショップ



竹あかり展示



竹炭づくり

〒760-0016 高松市幸町2-1 香川大学古川研究室

関連情報はこちら▶



しまがみね げんふうけい まも かい 島ヶ峰の原風景を守る会

初めて会った人達もいつか笑顔のソバづくり

概要

- 人口減少・高齢化により衰退し荒廃する農地の状況を憂いた同士が、この地の食文化や風景を「次世代に残したい」という想いで集まり、平成28年より荒廃地の開墾から始め、寒暖差を利用したソバ作りを開始。
- 開墾した農地の一部を利用して、ソバの栽培体験・そば打ち体験ができる『そば道場』を実施しており、加えて廃校跡地を利用してそばが食べられる食堂をオープン。

成果

- 農地であった面影さえない荒地の開墾は、狭小な道路や背丈よりも大きな草木のため容易ではなく、農地として復活するのに約3年の歳月を要したが、最近では本地区に定住した元地域おこし協力隊の方や島ヶ峰の紫翠に魅了された若い人も活動に参加するようになり、活気があふれてきた。
- 荒地を開墾したことにより、復活したソバ畑として県内外から注目を浴び、ソバ畑を一目見ようと多くの方が訪れるようになった。



荒れた農地が3年後に復活



咲き誇るソバの花



ソバを使用した6次化商品

〒766-0203 仲多度郡まんのう町川東2467

地方
奨励賞

ほのやまちいきほぜんかつどうそしき
帆山地域保全活動組織
 ほのやまロード、ひまわりに託す夢と希望

概 要

- 高齢化等による後継者不足で地域のインフラを守る事が困難になるなか、施設の老朽化等で維持管理や更新に多額の費用が必要と想定されるため、インフラは帆山保全活動組織で長寿命化を図り、農業生産活動は(農)ほのやまに集約して、二つの組織で持続可能な地域集落型営農を目指す。
- 地域資源を活かした6次産業化で地域を活性化し、自分達の集落は自分達で守るため、更なる省力化と生産性の向上を図る。

成 果

- 「自分達の集落は自分達で守る」をスローガンに、農道・ため池・水路のほか、地区内すべての官地の草刈り等を年3回実施。
- 6次産業化として、ひまわりオイルをはじめドレッシング、焼酎等の多数の商品を開発。また、畜産農家の協力で搾りかすを飼料にした「まんのうひまわり牛」や肥料として活用した「ひまわり米」も誕生。
- 約75万本のひまわりは、県内外から観光客が訪れる夏の風物詩となり、写真映える仕掛けにも取り組む。



写真映える仕掛けづくり



ひまわり迷路・幸せの鐘



夜間ライトアップ

〒769-0314 仲多度郡まんのう町帆山599番地1
 0877-77-2221